

足利市経済活性化を考える

—足利市経済活性化諮問会議での議論・最終提言を踏まえて—

林 明夫

1. はじめに 自己紹介

(1) 私の好きなことば

- ① 自己責任、自助努力、あきらめたらおしまい
- ② 「ブルドッグ魂」(食いついたら離すな) 中学のクラス担任 岡田忠治先生
- ③ 「練習で泣いて、試合で笑え」 中学の柔道部長 椎名弘先生
- ④ 「一所懸命」(一つの所で命を懸けるくらい熱心に行くこと) 足利高校のマラソン大会
- ⑤ 「注意一秒、ケガ一瞬」 大学の犯罪学の宮沢浩一先生
- ⑥ 「いつも最悪のことを考えて行動を」 大学の法哲学の峯村光郎先生
- ⑦ 「会った人は皆友達」 京都一燈園 石川洋先生
- ⑧ 「よいことをして忘れること」 //
- ⑨ 「本当の月を見たことがあるか、本当の自分を見たことがあるか」 //
- ⑩ 「離見の見(りけんのけん)」…舞台で舞う自分の姿をもう一人の自分が観客席から見る世阿弥(ぜあみ)
- ⑪ 「初心忘るべからず」 //
- ⑫ 「持続する志」 大江健三郎先生
- ⑬ 「目には遠いが、心は近い」 インドのことわざ
- ⑭ 「教育ある人とは一生勉強し続ける人」 ドラッカー先生
- ⑮ 「いつまでも若々しく生きる」 中村天風先生
- ⑯ 「一生勉強、一生青春」 相田みつを先生
- ⑰ 「自然と精神」 ベイトソン先生
- ⑱ 「健康第一、身体・心の健康を大切に」

(2) 私の仕事・活動

- ① 株式会社 開倫塾(学習塾、栃木・群馬・茨城に65校) 代表取締役社長
 - * 2002年 栃木県経営品質賞知事賞 受賞
 - * 2009年 ハイサービス日本300選 受賞
- ② 学校法人 有朋学園 有朋高等学院 理事長(福島市)
- ③ マニー株式会社(手術用縫合針製造)顧問、前社外取締役(宇都宮市、ハノイ、ヤンゴン、ビエンチャン)……製造業
- ④ 国立大学法人 宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授
- ⑤ 社会福祉法人 両崖福祉会 特別養護老人ホーム清明苑 理事(足利市)……介護・福祉
- ⑥ 公益社団法人 経済同友会(東京)幹事、サービス産業活性化 PT(プロジェクトチーム)副委員長、観光立国 PT 委員
- ⑦ 公益社団法人 栃木県経済同友会 幹事、社会貢献活動推進委員会 副委員長
- ⑧ 栃木県教育委員会、栃木県社会教育委員(7月まで8年間)
- ⑨ 足利市教育委員会、足利市英語教育推進プロジェクト会議 委員
- ⑩ NPO 法人大学開放推進機構 理事
- ⑪ 足利市経済活性化諮問会議 会長(2011年9月～2012年8月)
- ⑫ 足利商工会議所 議員
- ⑬ 開倫ユネスコ協会 会長
- ⑭ 開倫研究所 所長、教育経営品質研究会 主宰
- ⑮ CRT ラジオ栃木放送「開倫塾の時間」毎週土曜日午前9時15分～25分担当 26年目

2. 足利市の経済活性化に向けて—その前提条件—

(1) 国際競争力の強化あるのみ

- ① 現在は超少子・高齢化と都市間・企業間の国際競争の時代に突入。
- ② 超少子・高齢化の中で国際競争力の強化を図る以外、都市も企業も存続が難しい時代に入った。
- ③ 超少子・高齢化と国際競争に耐えられる人材育成が急務。

(2) これからの社会で求められるキー・コンピテンシー(時代の鍵を開く基本能力)とは

- ① 知識基盤社会 ……知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力
- ② グローバル化社会 ……多様な集団で交流する能力

(3) 課題山積社会 ……自律的に活動する能力

* 3つのキー・コンピテンシーの前提

- ㊦ 読書による思慮深さを身に付けている
- ㊧ 学び方を学ぶ能力を身に付けている

* キー・コンピテンシーの目的

- ㊦ 人生の成功
- ㊧ 正常に機能する社会の形成に貢献(永続する企業・社会・国家の形成に貢献)

3. 足利市経済活性化諮問会議の中間答申(613項目)と最終答申(230項目)を読み解く

4. おわりに

- (1) すべてはこれから
- (2) 提言実行団体、「足利経済フォーラム」にご参加を

以上